

保護者の皆様

## 学校評価について

苫小牧市立大成小学校長 柴田 知 巳

学校では、12月に実施した保護者・児童アンケート及び教職員自己評価の集計と諸調査等の結果から今年度の学校経営を評価し、次年度の改善に向けた方策について検討を行いました。また、2月18日に学校関係者評価会議（書面会議）を開催し、学校評議委員、町内会役員、主任児童委員、PTA役員に学校の自己評価と次年度の方向性について評価をいただいております。学校の自己評価及び次年度に向けた改善について、次のとおりまとめましたのでお知らせします。

### I 学校経営における重点となる取組の目標と達成状況

重 点	目 標	達成状況
確かな学力を身に付ける取組の充実	全国学力・学習状況調査 全国平均-5ポイント以内	未実施
	児童・保護者アンケート「学習が身に付いている」85%以上	○児童85.6% ▲保護者84.3%
	家庭学習調査「学習実施率」90%以上	○11月調査91.9%
豊かな心を育む取組の充実	児童アンケート「みんなにやさしくしている」90%以上	▲89.5%
	保護者アンケート「思いやりの心が育っている」90%以上	▲89.2%
	教職員評価「規範意識の醸成を行っている」100%	○100%
豊かな心を育む取組の充実	児童アンケート「規則正しい生活をしている」80%以上	▲72.1%
	保護者アンケート「規則正しい生活習慣が定着している」80%以上	▲70.9%
	教職員評価「運動の日常化を図っている」90%以上	▲80.0%

(○～目標達成 ▲～目標未達成)

### II 各アンケートの結果と考察

(令和2年度保護者アンケート提出率 83.8%)

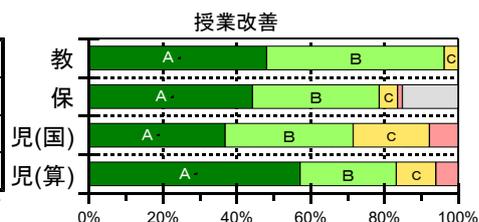
教職員評価	A～よく取り組んでいる B～取り組んでいる C～あまり取り組んでいない D～全く取り組んでいない
保護者アンケート	A～そう思う B～おおむねそう思う C～あまり思わない D～そう思わない E～よくわからない
児童アンケート	A～あてはまる B～だいたいあてはまる C～あまりあてはまらない D～あてはまらない

#### 1 確かな学力を身に付ける取組の充実

##### (1) 授業改善について

教職員	目標を焦点化し、何ができればよいかのイメージをもって授業を行っている。
保護者	(学校は) 分かりやすい授業をしている。
児童	国語の学習は好きですか。 算数の学習は好きですか。

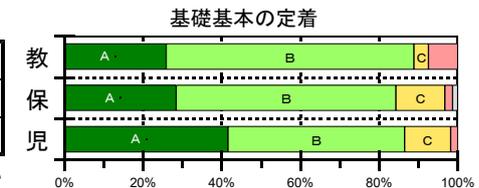
- 授業改善推進チームの様々な取組により、日々の授業の改善が図られてきている。
- 児童アンケートの国語と算数の差については、実態をさらに詳しく調査して改善策を講じる必要がある。



##### (2) 基礎基本の定着について

教職員	朝学習や放課後学習などを通して、学習の基礎基本の定着に取り組んでいる。
保護者	(子どもは) 基礎基本の学力が身に付いている。
児童	学校での学習が身に付いていますか。

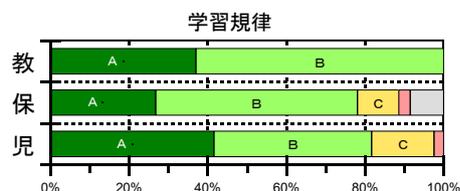
- 今年度は、放課後や長期休業中の補充学習が実施できていないが、年度途中から「ます計算」に取り組んだこともあり、保護者や児童の評価は向上している。コロナ禍においても、補充学習が実施できるよう工夫改善を図っていく必要がある。



### (3) 学習規律について

教職員	学習規律の定着に向けて、徹底した指導をしている。
保護者	(子どもは)学習のきまり(学習準備、姿勢、発表の仕方など)を守っている。
児童	学習のきまり(学習準備、姿勢、発表の仕方など)を守っていますか。

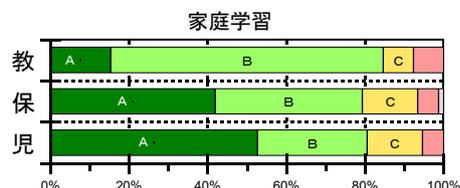
- どの評価をとっても「A」の回答が少なく、徹底が図られていないと受け取れる。学習規律の定着は学力の定着に直結することからも、学校として定着させたい学習規律を再検討し、全職員で徹底した指導をしていく必要がある。



### (4) 家庭学習について

教職員	家庭における学習の仕方を指導している。
保護者	(子どもは)家庭学習の習慣が身に付いている。
児童	進んで家庭学習に取り組んでいますか。

- 新型コロナウイルスの影響により、学校としては家庭学習についての十分な指導をする余裕がなかったことがうかがえる。しかし、保護者アンケートでは数値が向上していることから、これまでの取組や家庭への働きかけの成果が現れていると考えられる。新たな取組は増やさず、これまでの取組(家庭学習調査やノート掲示等)の効果を高める方策を考えたい。

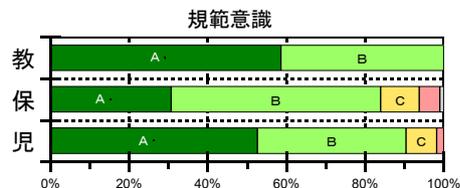


## 2 豊かな心を育む取組の充実

### (1) 規範意識について

教職員	善悪の判断と生命尊重の規範意識を育てている。
保護者	(子どもは)学校のきまりや家での約束を守っている。
児童	学校のきまりや家での約束を守っていますか。

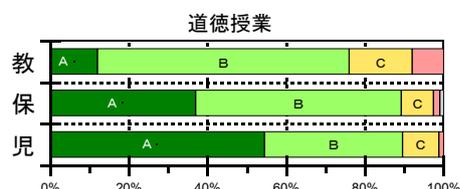
- 学校生活や地域での生活・出来事などを踏まえながら、具体を通じた丁寧な指導がなされていることがうかがえる。今後も生徒指導部や学年と連携して、指導の充実を図っていくことが求められる。



### (2) 道徳授業について

教職員	道徳の授業改善に取り組んでいる。
保護者	(子どもは)思いやりの気持ちが育っている。
児童	みんなにやさしくしていますか。

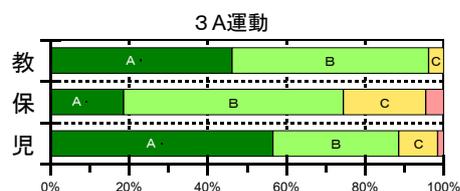
- 道徳の授業のねらいや内容が児童や保護者に定着してきたことがうかがえる。今後は日常の道徳授業が道徳的实践に繋がっているか検証していくことも必要と考えられる。



### (3) 3A(あいさつ、安全、後片付け)運動について

教職員	3A運動に徹底して取り組んでいる。
保護者	(子どもは)あいさつ、安全、後片付けを意識して生活している。
児童	あいさつ、安全、後片付けを意識して生活している。

- 児童アンケートからは、3A(あいさつ、安全、後片付け)の意識が定着していないことがうかがえる。3Aの取組が児童の実態に合っているかどうかを検証し、児童会活動等を通して児童自らが取り組みを進めていくようにしていくことが必要になる。

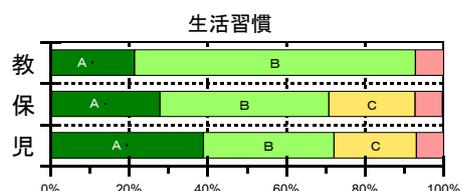


## 3 健康な体をつくる取組の充実

### (1) 生活習慣について

教職員	TSR3の実践を通して、生活習慣を身に付けさせている。
保護者	(子どもは)規則正しい生活習慣が身に付いている。
児童	規則正しい生活をしていますか。(早寝・早起き・朝ごはん、テレビ・ゲーム)

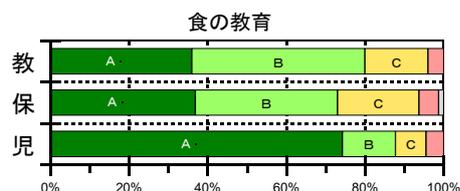
- 保護者・児童アンケートからは約3割の児童が生活習慣が確立していないととらえられる。児童や保護者の意識が高まるような具体的な取組方法を考え、次年度の最重点として取組を進めていく必要がある。



## (2) 食の教育について

教職員	栄養教諭と連携して食の教育の推進に努めている。
保護者	(子どもは) 食べ物の好き嫌いを少なくしようとしている。
児童	苦手な給食が出て、少しは食べるようにしていますか。

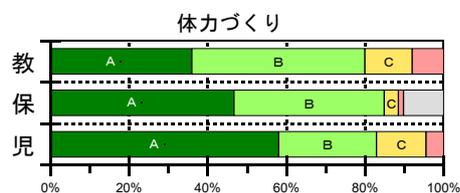
- 給食指導や栄養教諭による授業等を通して、「好き嫌いをなくす」指導が適切にされていることがうかがえる。栄養教諭との連携した指導の成果を他校（未配置校）へ発信していくことが今後求められてくる。



## (3) 体力づくりについて

教職員	休み時間等を活用して運動の習慣化に取り組んでいる。
保護者	(学校は) 体育の授業や体力づくりを通して、体力向上を図っている。
児童	進んで体力づくりに取り組んでいますか。

- コロナ禍やマラソンの中止もあり、十分な体力づくりは行えなかったが、保護者や児童は積極的な取組ができているととらえている。体育的行事や体力テストと連動させるなど、児童が目標をもって主体的に取り組める活動を模索していく必要がある。

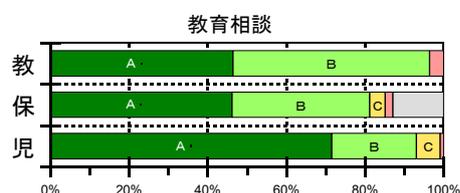


## 4 生徒指導の充実

### (1) 教育相談について

教職員	「子どもの心」に寄り添った教育相談を行っている。
保護者	(学校は) 子どもの相談に適切に対応している。
児童	先生は、困ったときや悩んでいるときに相談ののってくれますか。

- 教育相談については、保護者アンケートの経年比較では、昨年度よりA（そう思う）が10.4ポイント向上し、児童アンケートでは肯定的な回答では93.2%と高かったことから、相談体制が機能していることがわかる。こうしたことが、いじめ・不登校の未然防止、早期発見早期対応に繋がっている。

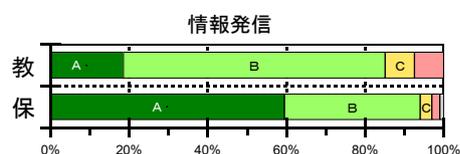


## 5 開かれた学校づくりの推進

### (1) 情報発信について

教職員	学級・学年通信、学校だより等を通して、家庭・地域への情報発信をしている。
保護者	(学校は) 各種通信等で学校の取組や様子を伝えている。

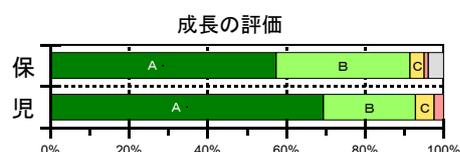
- 保護者アンケートでは、学校からの情報発信について94%が肯定的な回答をしていることから、コロナ禍で参観日等が開催できない中においても、各種通信等を通じて児童の様子を適宜伝えることができていたととらえられる。



## 6 その他

### (1) 成長の評価について

保護者	(学校は) 子どもの成長や頑張りを評価している。
児童	先生は、学習や生活のがんばりを認めて（ほめて）くれますか。



### (2) 保護者アンケートの記述（多数記述があった事柄）

- ・ コロナ禍により、運動会は中止となったが競技の一部を地域参観日で公開したこと、参観日はなかったが学級通信などで写真を入れて子ども達の様子を伝えてくれたこと、宿泊学習や修学旅行、などの体験的な行事が行われたことがよかったとする意見が多くあった。
- ・ 担任の個に応じた指導や気配り、子ども同士のトラブルの解決など、日々の指導や相談への対応に対する感謝の言葉がたくさん書かれていた。
- ・ 放課後のトラブルや家庭における過ごし方についても指導してほしいという意見があった。

- 感染症対策を講じながら児童の学習活動を保障してきたことが評価されている。特に、参観日がなく児童の学校の様子を見ることができなかった保護者には、写真を盛り込んだ学級通信等がとても好評であった。画像（写真・動画）を積極的に用いた児童の様子の発信について検討していく必要があるのではないだろうか。
- 生徒指導上の問題や不登校に対して、学級・学年担任に加えて担任外教員等が積極的に関わって問題解決に当たっていることが、未然防止や早期対応に繋がっている。

### Ⅲ 次年度に向けて

児童や地域の実態や時代のニーズに合った教育をめざし、新たな社会様式における学校の在り方、数年後の学校規模に適した教育課程の編成などについて検討しました。主な改善点は次のとおりです。

#### 1 日課

- (1) 時間を意識した生活により、生活習慣の確立を目指します。
  - ① 児童は午前8時00分に学校に着くことをめざして登校します。(玄関の解錠は7:50~8:10)
  - ② 朝学習を5分短縮し、8:10~8:20とします。
  - ③ 水曜日は、簡単清掃・昼休みをとらずに5時間目を開始します。
  - ④ 会議等による日課変更を極力減らします。
- (2) 放課後の時間の確保により、児童の主体的な活動の充実を図ります。
  - ① クラブ(4年生以上)は月曜の5時間目終了後に実施し、年間の回数を6回に増やします。
  - ② クラブ終了後の月曜の放課後は、全学年を対象の補充学習(チャレンジタイム)とします。
  - ③ 児童会は水曜の5時間目終了後に実施し、年間の回数を前・後期各7回に増やします。

#### 2 学校行事

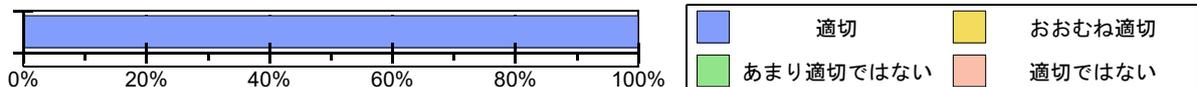
- (1) 家庭との連携を大切にするために、家庭訪問または個別面談を4月に実施します。
  - ① 1年生については、担任が家庭訪問して児童の様子について保護者とお話しさせていただきます。
  - ② 2年生以上については、保護者に来校いただき個別面談で保護者とお話しさせていただきます。
  - ③ 時期・学年を問わず、必要な場合は家庭訪問させていただきます。
- (2) 運動会は「学校の新しい生活様式」を踏まえて、内容を精選して実施します。  
(令和3年度は6月12日(土)を予定しています。)
  - ① 休み時間は児童が自由に過ごせる時間とするために、選手リレーの実施方法を見直します。
  - ② 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、平日の分散(2学年ごと)開催とします。
- (3) 今年度の成果を生かし、令和3年度以降も大成交流会を実施します。  
(令和3年度は12月18日(土)に保護者公開を予定しています。)
  - ① 日常の授業で学んだことを発表する場とします。
  - ② 保護者公開は、新型コロナウイルス感染症の状況により変更の可能性ががあります。

#### 3 その他

- (1) 教員による交通安全街頭指導は、登校時から下校時に変更します。
  - ① 登校時は、校内での児童の対応を優先します。
- (2) メール等を活用し、学校からの配付物を減らします。
  - ① 保護者宛の案内・周知文書の配付は、その一部を一斉配信メールへの添付とします。
  - ② 関係団体からの募集・案内チラシ等は、1階玄関前に設置して児童が自由に持ち帰られるようにします。
- (3) 教職員の勤務時間外は、音声メッセージによる電話対応とします。
  - ① 平日(登校日)は、17時00分から翌朝7時30分までメッセージ対応となります。
  - ② 長期休業中は、16時30分から翌朝8時00分までメッセージ対応となります。
  - ③ 土・日・祝日・学校閉庁日などは、終日メッセージ対応となります。

### Ⅳ 学校関係者会議から

#### 1 学校の自己評価(アンケート等の分析・考察)について



#### 2 意見・感想

- ・コロナ禍で町内会の子ども行事が中止となり、子ども達の様子を窺い知ることができず残念に思っている。アンケートには先生への感謝の言葉が多く、子ども達も安心して学校生活を送っていることが想像できる。
- ・デジタル教科書について先生方はどんな思いをもっているのか。全面デジタル化により、子ども達の学力低下はないのか、得意、不得意の児童が発生しないのか。デジタルは学習効果を高める補助教材にとどめたい。「紙と活字をこれからも大事にしたい」先生方から大なるアピールを。
- ・全学年の運動会の様子を離れて参観した。長い休校を乗り切る努力は当然であるが、校長を軸にした平面の人間関係と教職員一丸となった行動を見て素晴らしいと感じた。数多くの父母方の意見を見て考察しても、このことがはっきり裏付けされている。
- ・どちらかというと、マンネリ化、コピー化されている教育が、コロナという悪条件の中での目線を変えた教育、どうすればこの状況下で一歩前進できるか、校長・教職員の知恵を集結した力が今日の大成小学校の教育だと思う。自分の子ども中心の利己的な考え方に姑息されている父母の意見に悲しい思いもするが、数多くの意見には教えられることが多いと思う。
- ・長期休業中(特に夏季)は児童の行動が広範囲となり、若干心配される面があった。
- ・学校経営は大変だが頑張ってもらいたい。
- ・教育は教師・親は勿論、あらゆる関係者が一体となって進めるべきと信じているのですが、その方向性がきちんとできていることに敬意を表します。
- ・工夫に工夫を重ねての教育実践ご苦労様でした。